



## WAKO'S 筑波選手権シリーズ第2戦

開催コース/筑波サーキット (茨城県)  
 主催/日本スーパーカート協会  
 開催日/5月25日 天候/晴れ  
 路面状況/ドライ  
 Report&Photo/月刊 JAPAN KART

筑波シリーズ第2戦は、ジャパンカートカップとの併催となっている。今回のエントリーはSK1に8台、SK2が10台、そしてSK4が4台の3クラス22台だ。

しかし、決勝では昨年のスーパーカートカップシリーズでタイトルを獲得しているSK1 荒木耕一が、予選でフレームにクラックが入ってしまい棄権となり、またSK4でも圧倒的な速さを持つ桜井晋吾が電気システムのトラブルに見舞われ、同じくリタイヤとなってしまう。

12周で争われた決勝レース。まず飛び出していったのがSK1の吉野義弘と小野間悦久だ。2台は後方グループを突き放してのマッチレースを展開する。

最終ラップでデトネーションを起こし始めたという吉野だったが、どうにか持たせて開幕戦に続く二連勝達成。あと一歩が届かなかった小野間は2位に入るのが、次に期待を持たせる走りだった。

SK2では混戦のなか、川島が落ち着いた走りの中盤に逆転に成功する。トップに出ると安定したラップを刻み、危なげない勝利を手にした。

SK1に負けない速さを見せるSK4では河村と桜井の実力者同士のバトルが期待されたが、桜井がリタイヤとなったことで河村が余裕の勝利となっている。

### SK1・SK2・SK4の最速カートが集結



混戦の中からゆっくりとペースを上げていき、見事な逆転劇をみせたSK2の川島



SK1で素晴らしい走りを見せたYUUKA こと吉野。開幕戦に続いての2連勝!



チームメイトでもある鋪野政己との争いを制した尾川正明がSK2の2位に入る



着実に速くなっているのがレースごとに分かるSK2小野間。吉野に続いての2位



SK1からSK4にクラスチェンジした河村孝は危なげない走りでも余裕の勝利を手にした



トップ2には引き離されたものの、堅実な走りで単独3位を守りきった伊藤文和